

公益財団法人 群馬健康医学振興会 平成 28 年度事業報告書

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

I. 公益目的事業

1. 「公 1」 県民の健康づくりのための研究助成・書籍発行・講師派遣事業

(1) 県民の健康づくりのための研究助成事業

1) 医学研究、調査及び教育に対する助成

群馬県内又は近郊、その他の地域に勤務する医師、薬剤師、看護師、臨床検査技師、療法士、保健師、社会福祉士、その他の保健・医療及び福祉関連職、教員、団体等不特定多数の医療従事者を対象に、年度内に行う研究又は事業で、当振興会の趣旨に沿った活動を募集のうえ、選考を行い、平成 28 年度は下記の 7 件に研究助成金を交付した。

番号	交付者	所 属	研究又は事業のテーマ	助成額 (千円)
1	浅尾 高行	NPO法人 群馬がんアカデミー	医師補助業務トレーニング法の確立と実践	300
2	安部由美子	群馬大学大学院保健学研究科 生体情報検査科学講座	絨毛膜羊膜炎に関する共同研究	300
3	大竹 弘哲	前橋赤十字病院 リハビリテーション科	群馬県内における身体障害や高次脳機能障害例に対する自動車運転再開支援システムの確立	300
4	清水 岳久	館林厚生病院 内科・循環器科	熱中症に関する観察研究	300
5	高澤 知規	群馬大学医学部附属病院 麻酔科蘇生科	群馬大学医学部附属病院及び近隣病院における周術期のアナフィラキシー発生に関する後ろ向きコホート研究	300
6	堀口 昇男	群馬大学医学部附属病院 肝疾患センター	出張型肝臓病教室、患者サロンの取り組み —医師、看護師、管理栄養士、薬剤師が連携した教室の開催—	300
7	渡辺 亮	群馬大学大学院 肝胆膵外科学 (病態総合外科学)	膵管内乳頭状粘液性腫瘍 (IPMN) の癌化マーカーの開発	300
合 計				2,100

2) 第 117 回日本外科学会定期学術集会に対する助成

日本外科学会は、国民の健康増進確立と疾病治療のために活動する学術団体である。本学会の目的と活動は、外科学を通じて本邦のみならず世界のあらゆる分野の医学の研究活動、医療の進歩に貢献するものである。この度、国立大学法人群馬大学医学系研究科病態総合外科学分野が、平成 29 年 4 月 27 日（木）～29 日（土）開催される第 117 回日本外科学会定期学術集会を主幹することとなり、県内においても市民公開講座が開催されることとなった。

本学術集会を支援することによって、地域住民の健康増進、地域医療の振興に貢献することが期待できるため、平成 27 年度に引き続き下記のとおり募金を行い、研究助成金として奨学・研究責任者 群馬大学大学院病態総合外科学 桑野博行教授に交付した。

年 度	摘要	件 数	金 額	備 考
平成 27 年度	個人	49 件	14,250,000 円	
	法人	13 件	7,300,000 円	
	計	62 件	21,550,000 円	
平成 28 年度	個人	67 件	13,965,000 円	
	法人	19 件	11,800,000 円	
	計	86 件	25,765,000 円	
合 計	個人	116 件	28,215,000 円	
	法人	32 件	19,100,000 円	
	計	148 件	47,315,000 円	

(2) 書籍発行事業

概ね 5 年毎の研究助成、講師派遣事業の成果、及びその間に法人が収集した最新の医学の進歩について、広く県民、地域住民に知らしめるための書籍を発刊し、地域の医師会、病院、学校施設、行政などに寄贈すると共に一般の書店、病院で販売する。

平成元年 4 月に創刊後、これまでに 5 冊を発刊した。平成 26 年 2 月に開催した担当理事等による打合わせの結果、平成 28 年度に次刊(第 6 刊)を発刊することを確認した。

平成 27 年度においては、内容の詳細について検討し、同年度中に出版要旨を纏めることとした。

その後、書籍名を「“肥満と疾患：どこまで解明されたか？”」と定め、纏め役の群馬大学大学院医学系研究科 病態制御内科学 山田正信教授のプランニングの下、下記のタイトルで各々著者に原稿依頼した。

当初、平成 28 年度の発刊を予定したが、原稿の校正等に時間を要し、平成 29 年 7 月末の発刊に予定を変更した。

目次	タイトル (仮題)	著者 (敬称・所属略)
	発刊に寄せて	森川昭廣
	はじめに	山田正信
第1章	肥満とは	
1	肥満者は増加しているか?	森 昌朋
2	肥満とは? BMIとは?	大島喜八
3	肥満と肥満症の違い	岡田秀一
4	脂肪細胞と肥満	佐藤哲郎、吉野 聡
5	内臓脂肪と皮下脂肪の違い	麻生好正
6	末梢中枢連携と恒常性VS報酬性摂食	矢田俊彦
7	エネルギー代謝と肥満	北村忠弘
第2章	肥満と疾患	
8	肥満とメタボリック症候群	中島康代
9	肥満と糖尿病	伴野祥一
10	肥満症と脂質異常症	犬飼敏彦
11	肥満と高血圧	倉林正彦
12	肥満と高尿酸血症	大山善昭、中村哲也
13	肥満と脂肪肝	柿崎 暁
14	肥満と睡眠時無呼吸症候群や呼吸障害	鶴巻寛朗、久田剛志
15	肥満と脳血管障害	朝倉 健
16	肥満と心疾患	安達 仁
17	肥満と整形外科的疾患、骨粗鬆症	高岸憲二、内田 訓、 下山大輔、大島淳史
18	肥満と消化器癌	星 恒輝、草野元康
19	肥満と月経異常	岸 裕司
20	肥満と認知症	池田佳生
21	肥満と慢性腎臓病 (CKD)	坂入 徹、廣村桂樹
22	肥満とサルコペニア	田澤昌之
23	小児の肥満	大津義晃、荒川浩一
第3章	肥満症の治療	
24	肥満の食事療法	齊賀桐子
25	肥満の運動療法	齋藤従道
26	肥満症の行動療法	松本俊一、山田正信
27	肥満の薬物治療	山田英二郎
28	肥満・糖尿病に対する外科治療	笠間和典、関 洋介
第4章	肥満研究最前線	
29	肥満は遺伝か?	橋本貢士
30	肥満の原因遺伝子はどこまでわかったか?	土屋天文
31	肥満と報酬系	下村健寿
32	脂肪細胞の最前線	登丸琢也
33	摂食調節メカニズム研究の最前線	佐々木 努

(3) 地域医療の振興、地域住民の医学知識向上のための講師派遣事業

地域において健康づくりを目的とした講演を主催する公共の施設又は福祉を目的とする団体からの講師派遣の要請に応え、下記のとおり講師を派遣した。

1	派遣講師名	群馬大学医学部附属病院 感染制御部長 准教授 徳江 豊
	派遣日	平成28年9月1日 19時00分～21時00分
	派遣先	群馬県保険医協会 会長 木村 康
	会場	群馬県生涯学習センター
	講演名	医療安全の確保を目的とした講習会（感染症対策）
	対象者	医師、歯科医師
	聴講者	72名
2	派遣講師名	群馬大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部長 准教授 永井 弥生
	派遣日	平成28年9月1日 19時00分～21時00分
	派遣先	群馬県保険医協会 会長 木村 康
	会場	群馬県生涯学習センター
	講演名	医療安全の確保を目的とした講習会 （医療安全全般）
	対象者	医師、歯科医師
	聴講者	72名
3	派遣講師名	一般財団法人 同愛会 理事 薬局長 大谷 晴美
	派遣日	平成28年9月27日 10時00分～11時40分
	派遣先	前橋市若宮地区老人クラブ連合会 会長 松村 尚志
	会場	前橋市若宮町三丁目公民館
	講演名	高齢者と薬
	対象者	会員
	聴講者	59名
4	派遣講師名	群馬大学医学系研究科 器官機能制御学講座 臓器病態内科学 教授 倉林 正彦
	派遣日	平成28年10月18日 10時00分～11時30分
	派遣先	明寿大学同窓会 会長 若旅 繁雄
	会場	前橋中央公民館
	講演名	心不全（規則正しい生活を）
	対象者	会員
	聴講者	380名

## II. 収益目的事業

### 1. 「収1」医師賠償責任保険の委託契約集金事務

株式会社 北栄を取扱代理店とする医師賠償責任保険の委託契約集金事務の実績は、下記のとおりであった。

摘 要	加入者数	事務費	備 考
団体医師賠償責任保険 (内、交通傷害特約付き)	2,153 名 (1,192 名)	5,487,024 円	

(備考)

事務費は、「団体医師賠償責任保険」掛金の5%、「交通傷害特約」掛金の3%であるが、脱退者等があった場合は清算となる。

## III. 管理事業

### 1. 賛助会員

賛助会員の募集を行い、次のとおり賛同者を得た。

区 分	員 数	口 数	会 費	備 考
個人会員	32 名	51	255,000 円	
法人会員	42 件	42	2,100,000 円	
計	—	—	2,355,000 円	

### 2. 理事会、評議員会の開催

#### (1) 理事会の開催

定時 (第 11 回) 理事会開催 平成 28 年 6 月 7 日 (火)  
定時 (第 12 回) 理事会開催 平成 28 年 6 月 29 日 (水)  
定時 (第 13 回) 理事会開催 平成 28 年 10 月 11 日 (火)  
定時 (第 14 回) 理事会開催 平成 29 年 3 月 16 日 (木)

#### (2) 評議員会の開催

定時 (第 8 回) 評議員会開催 平成 28 年 6 月 29 日 (水)  
臨時 (第 9 回) 評議員会開催 平成 28 年 10 月 11 日 (火)

公益財団法人群馬健康医学振興会

財産目録  
(平成29年3月31日現在)

(単位:円)

貸借対照表科目	明細等	金額
(流動資産)		
当座預金	ゆうちょ銀行(医学ガイド)	26,146
	ゆうちょ銀行(賛助会費)	1,868,594
普通預金	東和銀行	2,173,017
	三井住友銀行	197,083
	みずほ銀行	113,380
	ゆうちょ銀行(特定資産の利息等)	129,606
	東和銀行(特定資産の利息等)	0
流動資産合計		4,507,826
(固定資産)		
基本財産	三井住友銀行	10,000,000
特定資産 (書籍発刊資金)	ゆうちょ銀行	5,000,000
特定資産 (定期学術集会支援資金)	東和銀行	1,715,213
特定資産 (研究助成金資金)	東和銀行	3,000,000
固定資産合計		19,715,213
資産合計(預金残高)		24,223,039
(流動負債)		
預り金	源泉所得税	6,410
流動負債合計		6,410
固定負債合計		0
負債合計		6,410
正味財産		24,216,629

## 公益財団法人 群馬健康医学振興会

理事、監事及び評議員に対する報酬等の支給の基準を記載した書類

公益財団法人 群馬健康医学振興会定款第 12 条及び第 27 条の規定により、理事、監事及び評議員の報酬は、無報酬とする。

<定款抜粋>

### 第 4 章 評議員

(報酬等)

第 12 条 評議員は無報酬とする。

2 前項の規定にかかわらず、評議員には費用を弁償することができる。

### 第 6 章 役員

(報酬等)

第 27 条 役員は、無報酬とする。

貸借対照表  
平成 29年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	4,507,826	3,548,985	958,841
流動資産合計	4,507,826	3,548,985	958,841
2. 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2)特定資産			
書籍発刊資金	5,000,000	5,000,000	0
定期学術集会支援資金	1,715,213	21,550,000	△ 19,834,787
研究寄付金	3,000,000	0	3,000,000
特定資産合計	9,715,213	26,550,000	△ 16,834,787
(3)その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	19,715,213	36,550,000	△ 16,834,787
資産合計	24,223,039	40,098,985	△ 15,875,946
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
預り金	6,410	7,050	△ 640
流動負債合計	6,410	7,050	△ 640
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	6,410	7,050	△ 640
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
寄付金	4,715,213	21,550,000	△ 16,834,787
指定正味財産合計	4,715,213	21,550,000	△ 16,834,787
2. 一般正味財産	19,501,416	18,541,935	959,481
正味財産合計	24,216,629	40,091,935	△ 15,875,306
負債及び正味財産合計	24,223,039	40,098,985	△ 15,875,946

正味財産増減計算書

平成 28年 4月 1日 から平成 29年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
賛助会員受取会費	2,355,000	2,380,000	△ 25,000
事業収益			
保険事業収入	5,487,024	5,511,606	△ 24,582
受取寄付金			
受取寄付金振替額	45,600,138	0	45,600,138
雑収益			
受取利息	3,177	4,238	△ 1,061
雑収益	0	6,134	△ 6,134
雑収益計	3,177	10,372	△ 7,195
経常収益計	53,445,339	7,901,978	45,543,361
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	3,787,028	2,856,168	930,860
福利厚生費	250,232	0	250,232
旅費交通費	41,064	132,350	△ 91,286
通信運搬費	153,945	136,239	17,706
消耗什器備品費	168,221	52,013	116,208
消耗品費	166,918	71,855	95,063
修繕費	18,576	12,096	6,480
印刷製本費	127,788	143,710	△ 15,922
光熱水料費	32,640	29,699	2,941
賃借料	165,888	163,584	2,304
諸謝金	63,000	48,000	15,000
租税公課	232,650	967,000	△ 734,350
支払助成金	45,420,138	1,800,000	43,620,138
委託費	0	324,000	△ 324,000
会議費	143,426	0	143,426
広報活動費	135,000	439,559	△ 304,559
雑費	195,990	163,190	32,800
事業費計	51,102,504	7,339,463	43,763,041
管理費			
給料手当	667,332	317,352	349,980
福利厚生費	62,558	282,077	△ 219,519
旅費交通費	10,266	14,705	△ 4,439
通信運搬費	38,486	45,413	△ 6,927
消耗什器備品費	42,055	13,003	29,052
消耗品費	41,730	23,952	17,778
修繕費	4,644	3,024	1,620
印刷製本費	31,947	35,928	△ 3,981
光熱水料費	8,160	7,425	735
賃借料	41,472	40,896	576
租税公課	25,850	0	25,850
会議費	35,856	218,818	△ 182,962
委託費	324,000	0	324,000
雑費	48,998	54,396	△ 5,398
管理費計	1,383,354	1,056,989	326,365
経常費用計	52,485,858	8,396,452	44,089,406
評価損益等調整前当期経常増減額	959,481	△ 494,474	1,453,955
当期経常増減額	959,481	△ 494,474	1,453,955
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	959,481	△ 494,474	1,453,955
当期一般正味財産増減額	959,481	△ 494,474	1,453,955
一般正味財産期首残高	18,541,935	19,036,409	△ 494,474
一般正味財産期末残高	19,501,416	18,541,935	959,481
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金			
受取寄付金	28,765,351	21,550,000	7,215,351
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 45,600,138	0	△ 45,600,138
当期指定正味財産増減額	△ 16,834,787	21,550,000	△ 38,384,787
指定正味財産期首残高	21,550,000	0	21,550,000
指定正味財産期末残高	4,715,213	21,550,000	△ 16,834,787
III 正味財産期末残高	24,216,629	40,091,935	△ 15,875,306

平成 29 年 5 月 1 日

公益財団法人群馬健康医学振興会  
理事長 森川 昭廣 殿

公益財団法人群馬健康医学振興会

監事

鈴木 庄 亮



公益財団法人群馬健康医学振興会

監事

梅枝 定 則



## 監 査 報 告 書

私たち監事は、平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査致しました。

その方法及び結果について、次のとおり報告致します。

### 1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めると共に、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を開覧し、業務及び財産の状況を調査致しました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討致しました。

更に、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録について検討致しました。

### 2. 監査意見

#### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### (2) 計算書類及び財産目録の監査結果

計算書類及び財産目録は、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。